

ネットワークビデオレコーダー

クイックマニュアル

XRN-410S/810S/811S
QRN-410/810
QRN-410S/810S/1610S

特徴

本製品はネットワークカメラの映像及び音声をハードディスクに録画し、再生することができます。
また、ネットワークを利用して映像及び音声を遠隔地からPCを通じてモニタリングする環境を提供します。

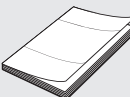
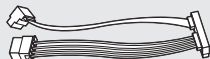
- 使いやすいユーザーインターフェース
- さまざまな4Kカメラ解像度をサポート
- HDMIを使用し4K HD画像を出力
- 信頼性の二重化電源
- ONVIF Profile S規格およびRTP / RTSPプロトコルのサポート
- HDD SMART機能を利用したHDD情報及び状態表示
- HDD上書き機能及び録画期間の設定が可能
- USB 2.0、3.0メモリ-及び外付けHDDを利用したバックアップが可能
- 4、8チャンネル同時再生
- 各種検索モード（時刻、イベント、スマート、テキスト、バックアップ、ARB）
- ARBサポート（チャンネルごとに期間を保存する設定機能）
- 各種録画モード（ノーマル、イベント、スケジュール録画）
- アラーム入力 / 出力機能
- Windows Network Viewerによるリモート監視機能
- ネットワークカメラのライブモニタリング支援
- インストールウィザード機能（簡単設定、クイック設定）
- P2Pサポートにより、スマートフォンでのリモートモニタリング機能をサポート
- スマートフォンでイベントアラームを利用可能（リアルタイムのイベントメッセージを送信）

パッケージ内容

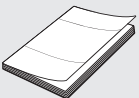
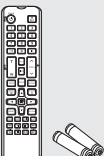
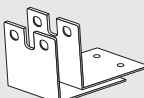


■ 付属品の種類と数量は、販売地域によって異なる場合があります。

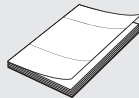
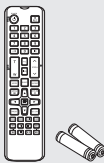
XRN-410S/QRN-410/QRN-410S

			
NVR	マウス	電源アダプタ	電源ケーブル
			
リモートコントローラー / リモコンの電池 (単4×2)	クイックマニュアル	端子台 (N/A オン QRN-410S)	HDD固定ねじ (HDDが搭載されていないモデルに ついて)
			
SATA電源ケーブル (HDDが搭載されていないモデル について)			

XRN-810S/XRN-811S/QRN-1610S

			
NVR	マウス	電源ケーブル	クイックマニュアル
			
端子台	リモートコントローラー / リモコンの電池 (単4×2)	ブラケットラック	ブラケット固定ネジ

QRN-810/QRN-810S

			
NVR	マウス	電源ケーブル	電源アダプタ
			
クイックマニュアル	端子台 (N/A オン QRN-810S)	リモートコントローラー / リモコンの電池 (単4×2)	HDD固定ねじ (HDDが搭載されていないモデルに ついて)
			
SATA電源ケーブル (HDDが搭載されていないモデル について)			

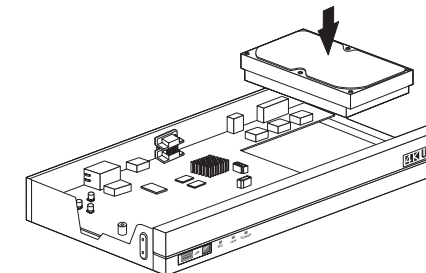
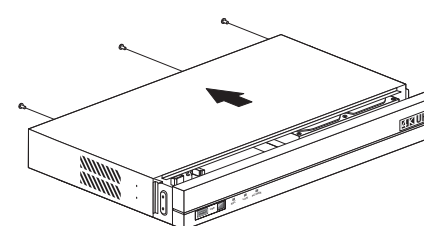
HDD搭載

- 初期インストールの他に新しく追加された新規HDDや他の製品で使用していたHDDを本製品に搭載する場合、セットで手動にフォーマットして使用してください。フォーマット方法は、Wisenet NVR説明書で「デバイス確認/フォーマット」をご参照ください。

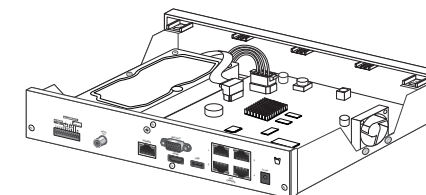
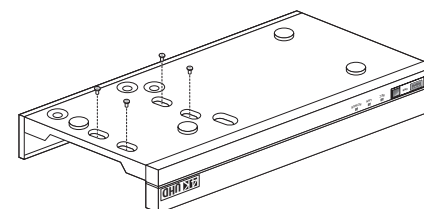
XRN-410S/QRN-410/QRN-810/QRN-410S/QRN-810S

- 次の画像はXRN-410Sモデル基準です。

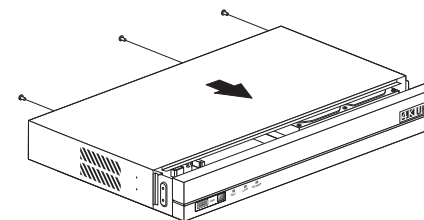
- 1 後面のネジを外してカバーを後ろに押しながら、分離してください。
- 2 HDDのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクタに接続してください。



- 3 セット地面のネジでHDDを固定してください。
- 4 製品内部の接続ポートと配線に問題ないか確認した後、カバーを閉じてネジで固定してください。



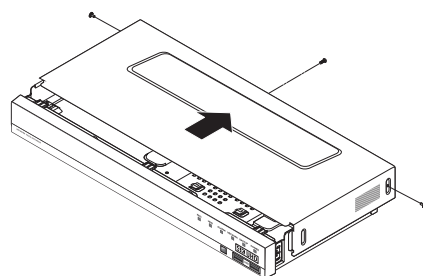
- 5 カバーを閉じて後面の固定ネジを締めてください。



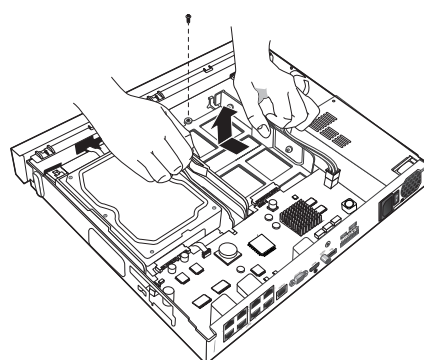
XRN-810S/XRN-811S/QRN-1610S

 ■ 次の画像はXRN-810Sモデル基準です。

- 1** 後面のネジを外してカバーを後ろに押しながら、分離してください。

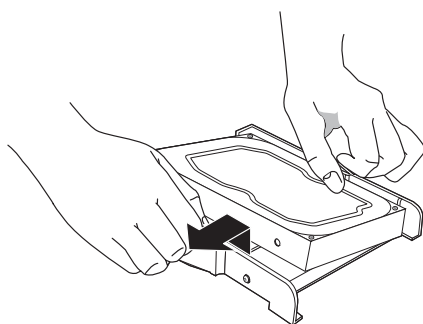


- 2** ブラケットの固定ネジを外して、ボードの矢印方向に押し込んで分離してください。

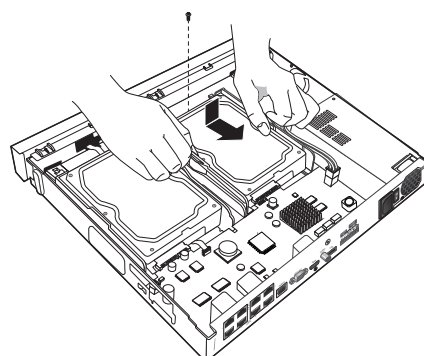


- 3** HDDブラケットとHDDの片面を先にはめ込み、もう一方のブラケットを開いてHDDを搭載してください。

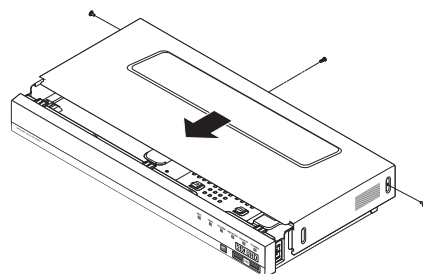
- HDDブラケットに搭載されたネジとHDDのネジの穴に合わせて差し込んでください。



- 4** HDDが搭載されたブラケットを押し込み、ネジで固定してください。



- 5** カバーを閉じてネジで固定させてください。



インストールウィザード設定

1 言語設定

言語を選択してください。

2 パスワード設定

使用するパスワードを設定します。



※ <  > をクリックすると、パスワード設定のための基本ガイドが表示されます。パスワード設定ルールを確認してください。

2-1. カメラのパスワード設定

カメラのパスワードを一括変更して管理できます。

カメラのパスワードが出荷条件初期化の状況で最初インストールする場合には、変更するパスワードを入力します。登録と同時にパスワードが変更されます。

カメラのパスワードが出荷条件初期化の状況ではない場合、現在のカメラのパスワードを入力します。現在のカメラのパスワードに登録されます。

- 新しいパスワード: パスワード設定ルールに適する新規パスワードを入力します。
- パスワード再確認: 設定したパスワードを再入力します。
- ONVIF&RTSPに登録済みのカメラパスワードは変更できません。

3 ネットワーク設定

- DHCPサーバー: DHCPサーバーを実行に設定すると、カメラに自動でIPが割り当てられます。
- ネットワーク1(カメラ): カメラとの接続のためのポートであり、カメラから映像を受信されます。
- ネットワーク2(全体): リモートビューアーのためのネットワーク(SSM、Smart Viewer、Webviewer)
- ネットワーク1(カメラ)/ネットワーク2(全体)設定
 - IPタイプ: ネットワークの接続タイプを選択します。
 - IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS

※ 詳細ネットワーク設定情報は、製品取扱説明書をご参照ください。

▶ 簡単なイントラネットを使用するには、<次へ>ボタンをクリックしてください。

- モード切替: カメラ登録方式を設定します。PoEに対応する製品にのみ提供する機能です。PoEに対応する製品は、製品仕様説明書の「機能別に対応するNVR製品(4ページ)」をご参照ください。

- PnPモード: 製品のPoEポートに接続されたカメラがポート番号順番にチャンネルに自動登録されます。但し、カメラが出荷条件初期化の状況の場合のみ可能です。そしてNVR管理者のID/PWに変更されます。後で再変更したい場合、メニュー > デバイス > カメラ > カメラのパスワードで登録されているすべてのカメラのパスワードを一括変更します。

- マニュアル設定モード: 製品のPoEポートに接続済みのカメラと別途のスイッチに接続済みのカメラを自動検索して登録します。



4 日付/時間設定

日付と時間を設定した後、<完了>ボタンをクリックするとインストールが完了されます。

5 カメラ登録

インストールウィザードを完了すると、カメラを自動登録します。

5-1. 検索されたカメラがNVRに対応するチャンネル数以下の場合には、検索されたカメラがすべて自動に登録されます。

5-2. 検索されたカメラがNVRに対応するチャンネル数を超過する場合、ユーザーが登録するカメラを直接選択してから登録します。

検索されたカメラリストで登録するカメラを選択した<登録>ボタンをクリックしてください。

※ 追加にカメラを登録するには、製品取扱説明書をご参照ください。



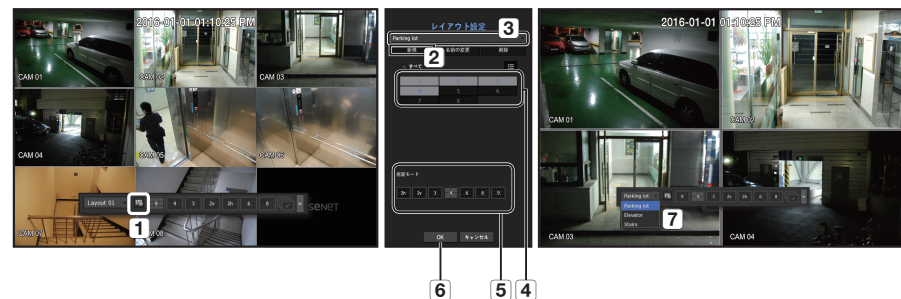
< 5-2 画像 >

レイアウト設定&実行

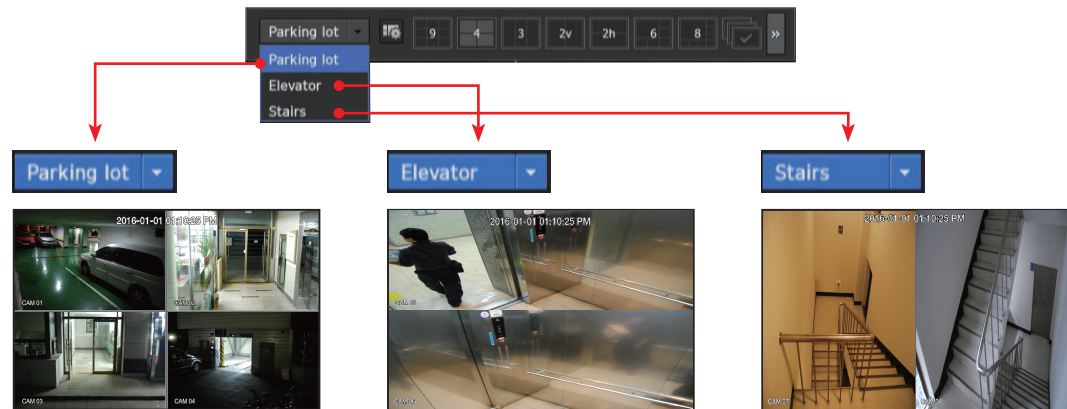
ライブ画面で設定したレイアウトを時間検索でも同じく使用してユーザーが設定したチャンネル手順とチャンネル組み合わせで検索して再生できます。

■ 各段階の詳細設定方法は、「製品取扱説明書」をご参照ください。

1 ライブチャンネルのレイアウト設定



- 1 チャンネルのレイアウト設定ページオープン
- 2 <新規>クリック
- 3 選択したチャンネルのレイアウト名を決める。(例 - Parking lot)
- 4 レイアウトに追加するチャンネルを選択(例 - 1、2、3、4など)
- 5 適用する分割モードを決める。(例 - 4分割)
- 6 <OK>クリック
- 7 移動するレイアウトを選択すると、すぐ移動する。(例 - Parking lotへ移動する。)



2 検索/再生



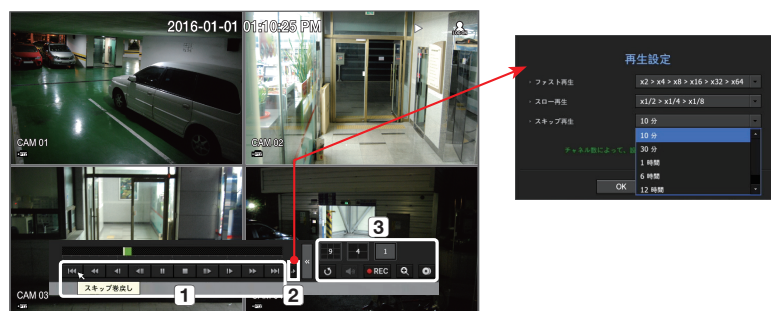
- 1 ライブモードでマウス右側ボタンをクリックして<検索>を選択してください。<時間検索>を選択してください。

2-1 検索



- ① 初期値は、<全チャンネル>であり、ライブで作成したチャンネルグループの中でレイアウトを選択してください。
- ② 選択したグループ別のチャンネルを選択してください。
- ③ タイムバーを動かすと、④の画像でプレビュー画面を確認できます。
- ⑤ <再生>ボタンを押すと、再生に移動します。

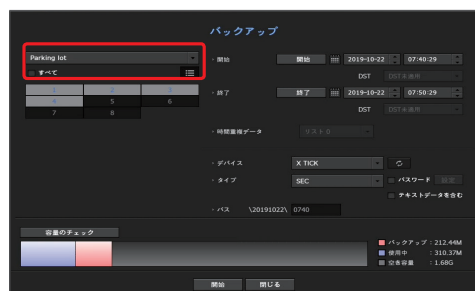
2-2 再生



- ① 再生する時に必要な様々な機能であり、マウスオーバーするとツールチップが表示されます。該当の内容を参照して再生制御を調整してください。
(例:スキップ巻戻し)
- ② 再生設定で①の特定機能を設定できます。
例)スキップ再生:10分、30分、1時間、24時間など
- ③ 分割モード&その他を再生する場合、動作する機能を表示します。

3 バックアップ

ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<バックアップ>を選択してください。



- ① レイアウトを選択してください。
- ② チャンネルを選択してください。
- ③ バックアップする時間、デバイス、タイプを設定してください。
- ④ <容量のチェック>ボタンをクリックして、バックアップ可能有無を確認してください。
- ⑤ <開始>ボタンをクリックしてバックアップを進行してください。

基本ガイドを活用する

ショートカットメニュービュー

ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックすると、NVRで提供する様々な機能を使用できます。アイコンにマウスオーバーすると、各機能別の用語定義が簡略に表示されます。



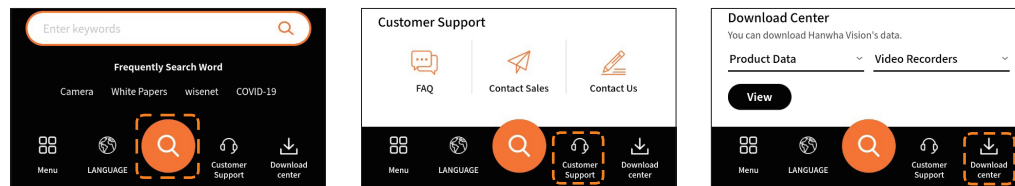
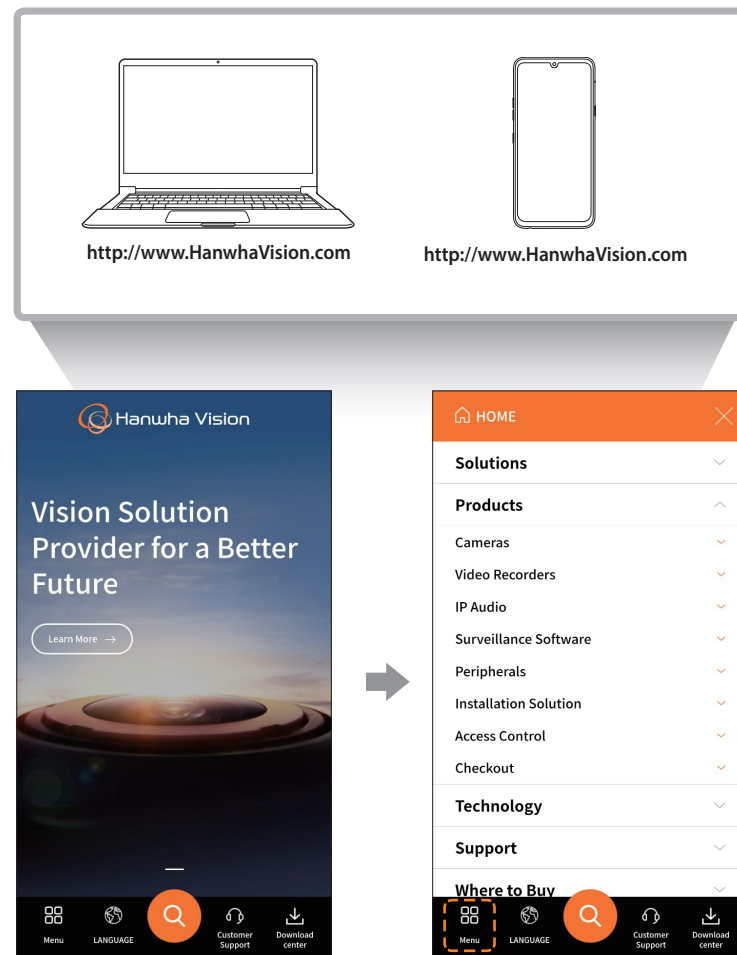
ライブランチャー



- ① ライブレイアウトを設定することができます。
- ② 対応する分割モードを設定することができます。端のシーケンス()は、各分割モード別に特定時間の間、順番に見ることができます。
- ③ ライブでアラーム制御、オーディオなどの付加機能を設定することができます。

製品Infoを活用する

ウェブサイトやスマートフォンのモバイルウェブで製品Info/マニュアル/ファームウェア情報/FAQ/HDD互換性リストなどを確認できます。



P2Pサービスを活用する

P2P機能に対応する製品にのみ提供する機能です。P2P機能に対応する製品はWisenet NVR説明書で「機能別対応するNVR製品」をご参照ください。

P2Pサービスを使用する場合、すぐにNVRをモバイルウェブビューアーで接続して使用することができます。

① <P2P有効>をチェックすると、現在該当NVRでリモート接続できるかアクセステストを行います。



② アクセスに成功すると、スマートフォンにWisenet mobileを検索してインストール&実行してください。

■ デバイス追加 > QRコードを選択すると、NVRのQRコードをスキャンすることができます。

③ QRコードをスキャンすると、NVRに表示されるデバイスIDがモバイルビューアーIDに自動反映され、NVRのID/パスワードを入力すると、すぐにモバイルビューアーを使用することができます。



④ その後からはスマートフォンに保存したWisenetモバイルアプリを実行すると、NVRに自動アクセスされ、スマートフォンで簡単にモニタリングすることができます。

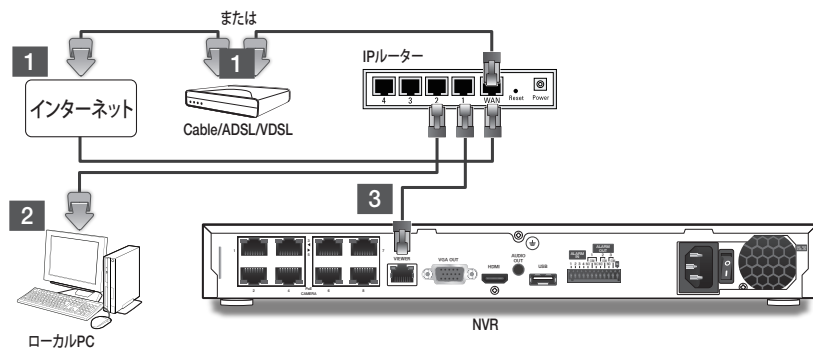


ルーターを用いてネットワーク接続

xDSL/Cable Modemを使用する環境でPCとNVR1〜3台を追加して使用する場合、1つのインターネットラインだけでルーターを用いて使用できます。

本ガイドは、ネットワーク非専門家のためのインストールガイドです。
説明に従ってルーター、ローカルPC、NVRを設定してください。

Cable接続



PCとルーター接続

！ ルーターの取扱説明書をご参照ください。

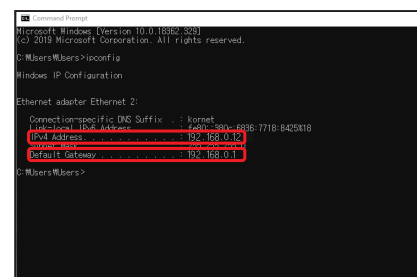
NVRとルーター接続

NVRの<ネットワーク>設定メニューの<インターフェース>に移動した後、

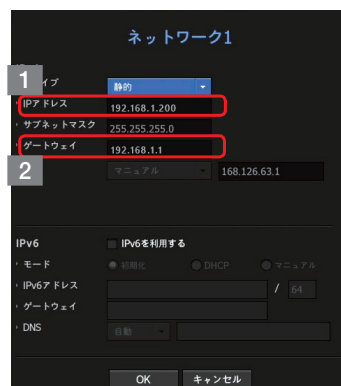
- 1 <設定>項目で<IP>と
- 2 <ゲートウェイ>を設定

※ ローカルPCの[cmd.exe]で確認した<デフォルトゲートウェイ>とNVRの<ゲートウェイ>を同じく設定する必要があります。

※ NVRの<IP>は、ローカルPCの[cmd.exe]で確認した<デフォルトゲートウェイ>と3番目の番号まで同じく設定する必要があります。



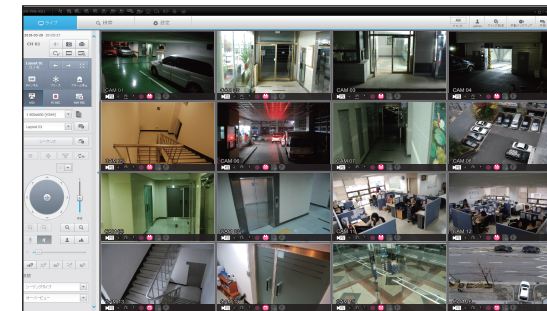
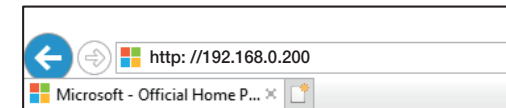
<cmd.画面>



<NVR画面の例>

PCでNVR接続確認

ローカルPCのアドレスバーにNVRメニューで設定したIPを入力すると、NVRのウェブビューアー画面が表示されます。



ルーターとインターネットの接続設定

各ルーターによって、インターネットの接続設定方法がことなるため、各ルーターによる設定方法をご確認ください。

ルーターでポートフォワーディング設定

外部からルーターのローカルLANが接続されたPCやNVRにアクセスするためには、ルーターのポートフォワーディングを設定してください。

NVRでは、<Webviewerポート>と<ポート(TCP)>を使用します。1つのWebviewerポート、5つのTCPポートをすべてポートフォワーディング設定する必要があります。

※ <Webviewerポート>だけをポートフォワーディング設定した場合、映像送信ポートの<ポート(TCP)>がポートフォワーディングされていないため、アクセスに成功しても映像は表示されません。
<ポート(TCP)>だけをポートフォワーディング設定した場合、ウェブアクセスポートの<Webviewerポート>がポートフォワーディングされなかったため、アクセスできません。

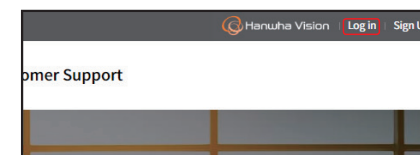
※ ルーターの取扱説明書をご参照ください。

動的IP環境でDDNSアドレスを用いてアクセス

xDSL/Cableモデムと同じ動的IP環境では、ルーターのWAN IPが変更される場合があるため、当社はDDNS(Dynamic Domain Name Server)サービスを提供して動的IP環境からでも、常にDDNSアドレスだけでNVRにアクセスできるようにしています。

• Wisenet DDNS設定

NVRをリモートでアクセスすることになるため、先にPCをブラウザを開いてddns.hanwha-security.comにアクセス用いてWisenet DDNSのアカウントを設定してください。その後、<ログイン>をクリック

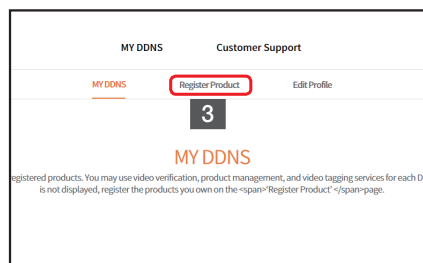


- 1 <会員登録>をクリックウェブサイトのアカウント登録指示に従ってください。

- 2 アカウント登録を完了した後、ログイン



3 <製品登録>タブをクリックして、ユーザーアカウントにNVRを追加



7 登録が終わったら、リストに製品が表示されます。



• DDNSアドレスを用いてアクセスする

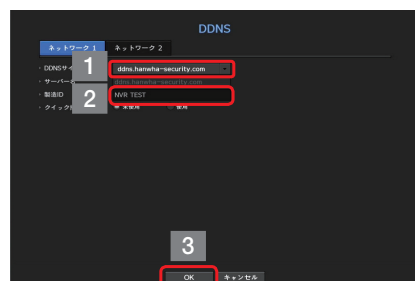
NVRの<ネットワーク>設定メニューの<DDNS>に移動、

1 <hanwha-security.com>を選択

2 <製造ID>を入力

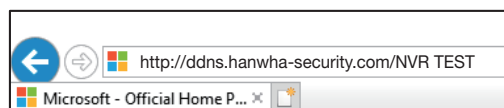
- <製造ID>にWisetnet DDNSウェブサイトで作成した<製品ID>を入力してください。

3 DDNS設定完了後、<OK>を選択



<NVR画面の例>

5 インターネット・エクスプローラーのアドレスバーにNVRで設定した<DDNSホスト名>である<http://ddns.hanwha-security.com/NVR TEST>にアクセスすると、NVRに接続できます。または、4番項目の< View >をクリックすると、NVRに接続できます。



すべての設定が完了されました。

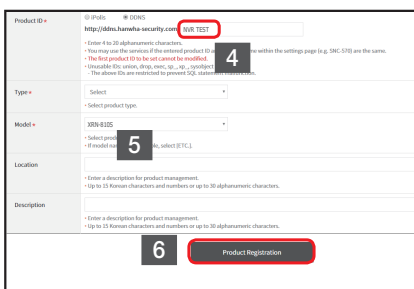
DDNSアドレスとID/パスワードを覚えてください。そうすると、インターネットに接続されたすべてのPCでNVRにアクセスできます。

以後の使用法は、取扱説明書をご参照ください。

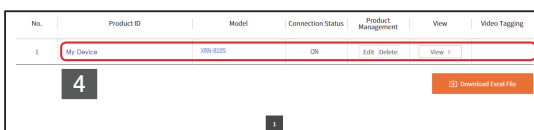
4 NVRに対する名称(製品ID)を作成

5 NVRの区分、モデル名を選択

6 <製品登録>をクリック

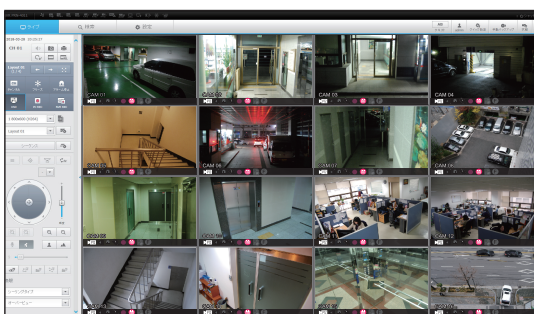


4 <ddns.hanwha-security.com>にアクセスして、登録した製品の接続状況が<ON>になっているかを確認



<Wisetnet DDNSの設定画面>

6 NVRのウェブビューアーの画面が表示されます。



Hanwha Visionでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。エコマークは、環境に優しい製品を創り出すHanwha Visionの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。

